

東山を知りたい！

牛の角突き編



角突きのルール

小千谷の闘牛は岩手県と同じで勝ち負けは、つけません。理由はたくさんあります。

1つ目は、両方の牛を強くさせるためです。牛は、負けると戦う自信が無くなって、戦えなくなるかもしれません。引きわけにすると牛がまだ戦いたいのに！と闘争心がわくそうです。

2つ目は、牛を飼っている人の思いやりです。牛をヘトヘトになるまで戦わせるのはかわいそうだという考えからだそうです。

他にもいくつか理由があるそうです。私は、たまに勝ち負けをつけてもいいじゃないかと思っていたけど、理由を聞いて、勢子さんたちのやさしさがよく分かりました。

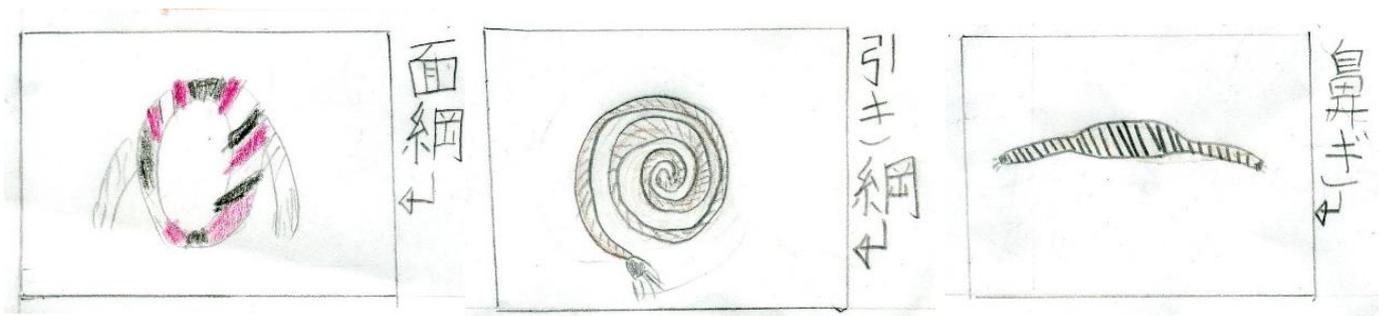


角突きで使う道具

面綱 . . . 牛の顔につけて場内に入ります。角突きを引退するまで、使います。洗たくはしません。

鼻ぎ . . . 鼻にひもを通して引き綱をつけます。

引き綱 . . . 牛を場内に入れて引っ張ってくるひもです。



角突き の歴史

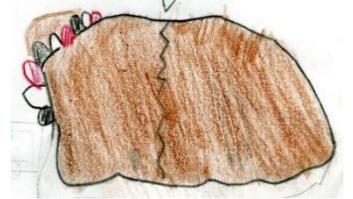
角突きは、何年前から行われているかはっきりとは分かりません。きっかけは、岩手の商人が牛に乗って新潟に来たことです。そのとき、その牛を置いていった事から牛を戦わせる事が流行しました。

今は柵がありますが、昔はありませんでした。なので、逃げてしまう牛もいました。なので、一つ一つの試合が長かったそうです。

東山の闘牛場は、今は一つしかありませんが、昔はたくさんありました。」

このように、今とはちがう角突きが、昔にありました。でも、昔から行われているルールもあるので、みなさんもぜひ、この東山の角突きの変化や、昔からのルールを探してみたりしてみてください。

みまもり岩



闘牛場の近くにある大きな岩です。次のような意味が名前に込められています。

見守る …… 東山全体を見守る

身護る …… 身を守る

三鎮る …… 中越大震災でなくなった三人の子供を守る

牛の技

イラスト

- ①名前
- ②どんな技か



- ①首をあずける
- ②相手に体重をかける



- ①はたき
- ②角で相手をはたく



- ①てっぽう突き
- ②始まってすぐ突っしんする



- ①かけ
- ②相手を下からねじる



- ①ねりをふむ
- ②にらんでいかくする

他にもいろいろな技があるので探してみてください。

ある牛の1日

5時

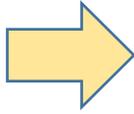
6時

7時

8時

9時

朝食



寝たり、起きたり



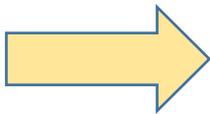
10時

11時

12時

13時

14時



寝たり、起きたり



15時

16時

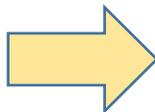
17時

18時

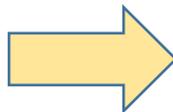
19時



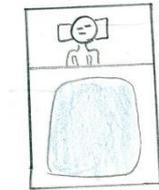
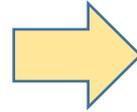
寝たり、起きたり



夕食



就寝



(たまに、散歩、つなっこ)



角突きの主役！かっこいい牛たち

牛の写真

- ① 名前
- ② 毛色
- ③ 年齢



- ① 勇伸
(ユウシン)
- ② 黒毛
- ③ 13歳



- ① 剛力号
(ゴウリキョウ)
- ② 赤毛
- ③ 11歳



- ① 川端一号
(カワバタイコウ)
- ② 赤毛
- ③ 10歳



- ① 牛太郎
(ギョウタロウ)
- ② 白毛
- ③ 9歳
東山小学校の人気者！



- ① 清号
(キヨシコウ)
- ② 赤毛
- ③ 8歳



- ① 泰斗
(タイトウ)
- ② 赤毛
- ③ 7歳



- ① 大家一号
(オヤイコウ)
- ② 赤毛
- ③ 7歳



- ① 新五左エ門
(シンゴザエモン)
- ② 黒毛
- ③ 7歳



- ① 川端二号
(カワハタニコウ)
- ② 赤毛
- ③ 7歳



- ① 丸坂
(マルサカ)
- ② 黒毛
- ③ 4歳



- ① 雄飛
(ユヒ)
- ② ブチ
- ③ 3歳



- ① 朝日
(アサヒ)
- ② カス毛
- ③ 3歳



- ① 丸坂2
(マルサカニ)
- ② 黒毛
- ③ 3歳



- ① 大家二号
(オヤニコウ)
- ② カス毛
- ③ 3歳

まだまだこんなに牛がいるよ！ (平成30年 小千谷闘牛振興協議会所属)

牛名	年齢	牛名	年齢	牛名	年齢
拓輝号	15	豪快力	10	門兵エ	8
高野	15	源号	10	順ノ下	7
天神	14	幸左エ門	10	藤七	5
健康力	13	慶作	9	獅子丸	5
飛夢皇	13	大下	9	和泉屋	4
和泉龍	13	丑蔵	8	天寿	4
小杉	12	清松	8	金龍	4
天竜	12	忠左エ門	8	ヒム2号	3
五代小金石	11	久蔵	8		
桃太郎	11	鳥幸	8		

牛の角突きを盛り上げる 勢子さんたち

顔写真

- ④ 名前
- ⑤ 勢子歴
- ⑥ 一言 (大変なこと、気を付けてること など)



- ④ 平澤 隆一さん
- ⑤ 30年
- ⑥ つなを引っ張ること



- ④ 平澤 敬一さん
- ⑤ 25年
- ⑥ 動き回った次の日の筋肉痛が大変



- ④ 星野 雅一さん
- ⑤ 20年以上
- ⑥ よく突いてもらうための応援が大変



- ④ 片岡 上生さん
- ⑤ 約20年
- ⑥ けがをしないように気を付けること



- ④ 広井 哲也さん
- ⑤ 15年くらい
- ⑥ けがをしないようにすること



- ④ 平澤 誠さん
- ⑤ 14年
- ⑥ 肩が外れること



- ④ 広井 輝行さん
- ⑤ 14年くらい
- ⑥ けがをすることが怖い



- ④ 須田 清さん
- ⑤ 14年
- ⑥ 若い者にまかせています



- ④ 山岸 泰洋さん
- ⑤ 13年くらい
- ⑥ 急な動きをしたときが大変



- ④ 本田 剛さん
- ⑤ 13年くらい
- ⑥ 特になし



- ④ 佐藤 易博さん
- ⑤ 半年くらい
- ⑥ 走れないことが大変

他にも勢子さんはたくさんいます！勢子さんがどんな風に活躍しているのか、ぜひ注目して見てください！



勢子さんの話を聞いて思ったこと

- ・けがをしても勢子をしているという話を聞いてびっくりした。それでも、勢子を続けているということから、牛を愛する気持ちを感じたし、勢子という仕事に誇りをもっているように感じました。
- ・勢子さん1人1人、いろいろなやりがいを感じていてすごいと思いました。
- ・けがをしないように気をつけて、勢子さんの仕事を頑張ってもらいたいと思いました。

東山を知りたい！

錦鯉編



錦鯉の歴史

錦鯉の誕生

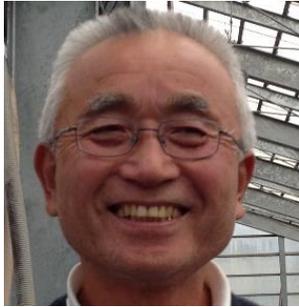
約240年前に、旧二十村郷で真鯉から突然変異して錦鯉が誕生しました。名前は錦鯉ではなく、花鯉、色鯉と言われていました。赤や白の鯉ができ、おもしろくていろいろな品種を開発しました。そして、明治の終わりには、紅白が誕生しました。

昭和になると、花鯉や色鯉ではなく、錦鯉と言われるようになりました。

感想

240年も前から錦鯉がいると知りました。思ったより昔からいたのでびっくりしました。錦鯉は昔、花鯉や色鯉といわれていたと知りました。なぜ名前が変わったのか気になりました。紅白がいつ誕生したのか知らなかったなので、知れて良かったです。

闘牛振興協議会会長 間野 泉一さんに聞いたQ&A



名前 間野 泉一さん

飼っている牛 和泉龍
和泉屋

Q闘牛振興協議会の仕事は何ですか。

A年7回の闘牛、年2回のつめ切り、観光闘牛（闘牛パレード、風船一揆）

Q重要無形民俗文化財とは？

A民俗文化財の中でも特に重要なものであるとして、国が指定する無形文化財。

Q闘牛振興協議会の会長をやっていて大変なことは、何ですか。

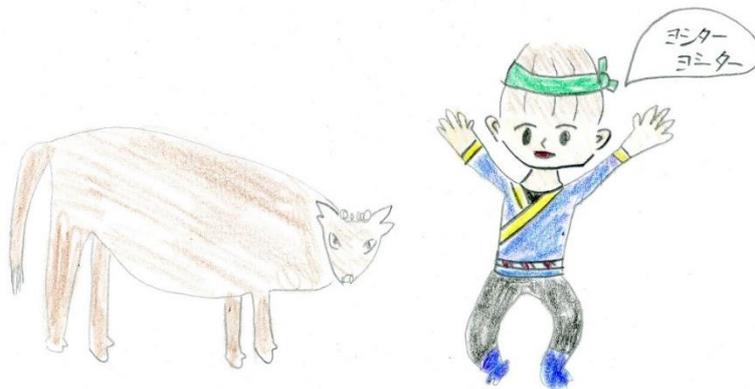
Aいろんな仕事が入ってきて、イベントをたくさんやるのが大変。

Qこれからの角突きをどうなってほしいですか。

A東山の人口が少なくなっているから今の状態のままで長く続いてほしい。男の子が成人になったら地元のにのこって勢子になってほしい。

Q勢子になるには、どうやれば入れますか。

A闘牛振興協議会の会員になる。最初は、怖いから先輩に教えてもらう。現在の会員数は70～80人だそうです。



知っていますか？

錦鯉にはこんなにたくさん種類があります！



紅白



大正三色



昭和三色



白別甲



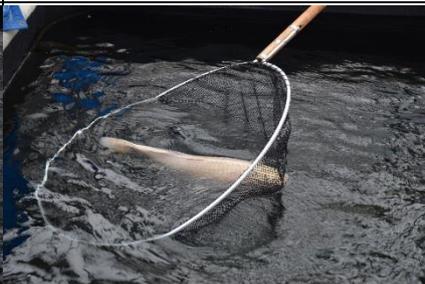
白写り



紅鯉



山吹黄金



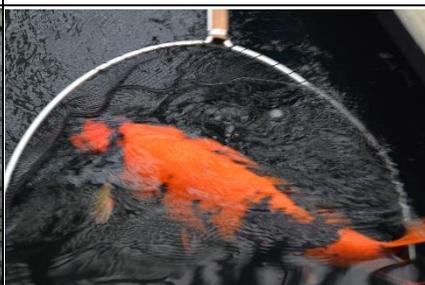
プラチナ



藍衣



松葉



緋写り



浅黄



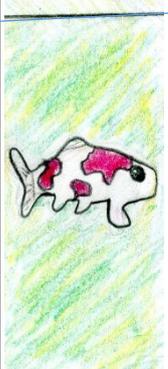
孔雀



丹頂

他にもたくさん鯉の種類があります。ぜひ、いろいろな鯉を見てください。あまりの美しさと大きさに、きっと驚くと思います！

養鯉場の1年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
仕事	生まれた鯉の選別、管理 お客さんの対応	東京で全日本の品評会があるから鯉を出品する。選別や管理など (雪が降っている間)	選別、管理。東京の全日本の品評会に来た外人さんが鯉を買い求めに来る	大きな鯉から山のつつみにはなす	産卵・孵化 (7月上旬まで)	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
仕事	生まれた鯉が三十日たったら、選別をする	 	上旬まで   	大きな鯉からハウスにもどす	お客さんの対応。鯉の管理	

パンフレットを作ろうと思ったきっかけ

私達は、「魅力あふれる東山に、たくさんの人から来てほしい。そして、東山地域をもっと有名にしたい。」という思いをもって、パンフレットを作りました。

全員の感想

私は、勢子さんにインタビューをして、勢子さんは、自分が大変な思いをしても、頑張っていることを知りました。勢子さんは、牛をかわいがっているから、やめないで、がんばっていてすごいと思いました。

これからもがんばってほしいです。

なぜ危険な事をする勢子をやめるのが不思議に思い、インタビューをしました。インタビューをしたら牛が好きだからと言っていました。牛がとても好きという気持ちで勢子をやっているすごいと思いました。

私は、勢子さんにインタビューをして大変なことを教えてもらいました。大変なことがたくさんあるのにずっと続けているのは、すごいと思いました。今よりもっと角突きが有名になって、人がたくさん来てほしいです。

私は、いろいろなパンフレットを見たことがあります。実際に自分で作ってみて、作ることはとても大変なのだと思います。この学習を通して勢子さんや鯉を飼っている人の思いがよく分かりました。ご協力いただいた勢子さん、泉一さん、ありがとうございました。

ぼくは、勢子さんにインタビューをしました。それぞれちがった育て方をして、牛を強くしていました。牛も1頭1頭ちがうので、その牛にあった育て方をしてすごいと思いました。パンフレット作りは、楽しかったです。

私は、角突きで勢子さんにインタビューをして、「けがをしそうで怖い。」「動いた次の日が大変。」などいろいろなことを聞きました。私は、大変なことを分かっていたけど、改めて、勢子さん1人1人の大変さがよく分かりました。

勢子さんは、けがをするかもしれないのに、何年もやっていて、牛や角突きが本当に大好きなんだと思いました。

錦鯉がいつ誕生したのか知らなかったから、知れてよかったです。

平成30年度 小千谷市立東山小学校5・6年生

